

スパークス・アセット・マネジメント投信の成長戦略

阿部修平（スパークス・アセット・マネジメント投信社長）

■ 阿部 修平 略歴

1978 年 上智大学経済学部卒業
1980 年 バブソンカレッジで MBA 取得
1981 年 野村総合研究所入社
1982 年 野村證券へ転籍と同時にニューヨーク現地法人に異動、日本株セールスを担当
1985 年 ニューヨークにて「アベ・キャピタル・リサーチ」を設立
1986 年 「スパークス投資顧問株式会社」（現スパークス・グループ株式会社）を設立
代表取締役社長に就任（現任）
2005 年 ハーバード大学ビジネススクールで AMP 取得

■ 会社概要

本社 東京都品川区大崎一丁目 11 番 2 号 ゲートシティ大崎
創業 1989 年 7 月 1 日
資本金 116 億円 2,459 万円（2006 年 6 月末）
グループ役職員数 257 名（2006 年 6 月末）

主な事業内容

次の事業を営む会社及びこれに相当する業務を営む外国会社の株式を所有することにより、当該会社の事業活動を支配することを目的とする。

1. 投資信託の委託会社としての業務
2. 内外の有価証券等に関する投資顧問業務及び投資一任契約に係る業務
3. 証券取引法に規定する証券業
4. その他前各号に付帯する一切の業務

役員 代表取締役社長 阿部 修平
取締役 村山 徹、村住 直孝、柳井 正、木村 庸五
常勤監査役 古川 利之
監査役 佐藤 正雄、松田 壯一郎、小山 稔

最近の事業年度における業績（2006 年 3 月度）

営業収益 268 億 6,388 万円
経常利益 162 億 8,047 万円
当期純利益 88 億 9,422 万円

■企業理念 「世界で最も信頼、尊敬されるインベストメント・カンパニーになる」

■経営戦略 アジア地域への拡大、 投資信託ビジネスの拡大、 既存ビジネスの強化
アジア地域への拡大

当社は、今後成長が見込まれるアジア地域を投資対象とする運用会社として、独立的な地位を確立すべく、アジアの運用会社のネットワーク化に取り組んでいます。

2005 年 2 月には、その先駆けとして韓国の資産運用会社であるコスモ社の発行済株式数の過半数を取得し、日本、韓国のネットワーク化を行いました。そして、2006 年 6 月には、日本を除くアジア地域で最大級のオルタナティブ運用会社である PMA 社の全株式を取得し、グローバルな顧客ベースを通じて、従来のオルタナティブ運用の枠を超えたアジアの投資インテリジェンスを世界中に提供することが可能となりました。

今後は、アジアの資産運用ビジネスにおいて圧倒的な優位性を確立し、「アジア株投資におけるグローバル・ゲートウェイ」として、アジア地域で最良の投資インテリジェンスを世界中の投資家に提供していきたいと考えています。

投資信託ビジネスの拡大

米国の投資信託市場はすでに 400 兆円を超える資産規模であり、「日本株を含むアジア」を投資対象とするファンドへの関心度が高まりつつあります。他方、日本の投資信託においても、団塊の世代の退職による資金流入などにより、個人資産運用の需要はますます高まってくると考えられます。その中に於いて当社は、公募ファンドを重点的に強化することにより、収益力の大幅な向上を目指していきたいと考えています。

既存ビジネスの強化

当社は、運用資産が急拡大の状況にあります。顧客の信頼に足る運用パフォーマンスを維持しつつ、収益力をより向上させていくことを目指していきます。

- ・ 品質の向上
- ・ 規模の拡大
- ・ 収益性の向上
- ・ 新しい事業領域への展開（スパークス証券、スパークス・キャピタル・パートナーズ等）

また、当社は、事業範囲の拡大及びそれに対する機動性を確保するため、10 月 1 日付で持株会社体制に移行いたしました。引き続き、経営資源の戦略的な再配分を通じて、新しいビジネス・モデルの確立に向け、積極的に取り組んでまいります。